

平成30年3月16日

青森森林管理署

眺望山自然休養林管理棟周辺の桜並木の整備を行いました

青森森林管理署は青森市や青森県庁職員や県内ボランティア団体等により構成される眺望山・梵珠山自然休養林保護管理協議会とともに、平成30年3月14日（水）に県道2号屏風山内真部線沿いの眺望山自然休養林の管理棟周辺の桜並木の整備を行いました。この桜並木は、春に眺望山を訪れる人やドライブする通行者の目を楽しませており、今年もきれいな桜を多くの方にご覧頂けるように、当署の職員含め40名程でテングス病に感染した桜の枝の剪定等を行いました。

テングス病とは樹木の病気で、感染すると枝等が異常に発生して、その部分では花が咲かなくなります。その見た目が天狗の巣のようであることから、「テングス病」と名付けられ、英語では「魔女のほうき」とも呼ばれるそうです。この病気に対する有効な防除法は、病巣部を取り除くことであり、継続して除去作業を行うことが重要です。



青森森林管理署長による挨拶



青森森林インストラクター会
千葉氏による桜についての説明



総勢40名もの参加者



眺望山・梵珠山自然休養林保護管理協議会会長
(青森市農地林務課長による挨拶)

今回の作業は、昨年に引き続きテングス病に感染している枝や邪魔な枝等の切除ですが、昨年より病巣部は減少しており、活動を継続していた成果が出ていたと感じました。今年は雪が非常に多く積もっていたため、この自然の踏み台を利用して樹上の高い部分まで作業することができました。参加メンバーの1人は、リンゴの剪定技術を利用した弘前公園のソメイヨシノの剪定を勉強して紹介していただき、それを参考に大胆に剪定する方や迷いながら剪定する方等見られました。また、桜は腐りやすいので、切り口に薬を塗り、腐食防止の措置も行いました。

だれもけがをすることなく無事に作業を終えて、参加者からは「桜の開花が楽しみ。」などの声もありました。

これから春になり、桜並木のある道路の通行者や眺望山の利用者の皆様楽しんでいただければ参加者一同うれしく思います。今年の開花時期は、例年よりやや早く4月下旬となっておりますので、ぜひお越し下さい。

来年度も青森森林管理署は、このような活動を通じて、地域との交流・環境美化活動等をしていきたいと思っております。



積雪のお陰で高所でも剪定鋏が使えます
(奥に見えるのが、管理棟2階の足場です)



「そり」や「かんじき」を利用した
雪上ならではの作業



さらに高い部分は高枝鋸による剪定で作業しました